

# 市議会 だより

令和6年3月定例会報告

鶴ヶ島市議会



若い人達も気軽に参加できる  
議員との交流の場があれば

鶴ヶ島第二小学校の緑のカーテン



みどりかぜにインタビュー

※インタビューの詳細は17ページへ

## 目次

令和6年度当初予算特集	2
市の考えを問う 一般質問	6
3月定例会報告	13
委員会審査（請願）	15
委員会審査（条例）	16
委員会審査（補正予算）	16
◆一般会計・特別会計	
市民・団体インタビュー	17

全議員で委員会審査！

令和6年度

# 予算の注目点

一般会計

243億6000万円

特別会計（合計）

130億3690万円

審査内容の詳細は4・5ページへ！



注目する点  
注目点に  
応じたコメント

太田 忠芳 議員

## 給食費無償化のために

単独事業として、給食の質を保障し、無償化が可能な一般財源の恒常的な確保を

小島 幸広 議員

## 子育て支援の施策

児童手当第3子以降の拡充、こども医療費高校生まで無償化、病児保育利用料の無償化が実現。

小川 尋海 議員

## 市民に歩みよる福祉

要介護リスクの高い高齢者に個別訪問を行う画期的な新事業に期待しています！

今野 雄一 議員

## 子育て支援の取組は

「こども医療費助成事業」が高校生世代まで拡充！  
保育・教育の支援も一歩前進！

小林ひとみ 議員

## 市民目線の政策に期待

こども医療費を高校生まで拡充  
感染症予防対策 子育て政策や健康増進に期待

山中 基充 議員

## 市民の声を活かしてゆく

後期基本計画策定、自治体DX、西中活用推進、こども計画策定ー市民と未来を育む一年にー

出雲敏太郎 議員

## 子どものための予算について

学校トイレの改修や通級指導教室の整備、病児保育の無償化などの積極的な取組を評価

小川 茂 議員

## 子どもにやさしいまちづくり

「子育て支援の充実」  
「教育環境の向上」に期待



**福島 恵美**  
議員

### 市民の命と約束を守れ

この予算では、災害対策、自殺対策、ゼロカーボン、「3つの重点戦略」を実現できない

### 積極的な投資予算編成

多くの新規事業を投入し既存事業の拡充を躍進させ市民の要望が形として見える予算編成



**瀧嶋 正紀**  
議員

### 鶴ヶ島駅周辺まちづくり関連事業

市民の絆を豊かにするために市民が集い、心と心が触れ合う機会と空間を作ることが必要



**村上 信吉**  
議員

### 子ども・高齢者支援

子育て支援と学校教育環境の充実  
高齢者へのデジタル化支援と健康維持支援



**高篠 雅洋**  
議員

### 基本計画に有終の美を!!

①子どもにやさしいまち②健康でいられるまち③将来への魅力ある投資  
※これらの貫徹を!!



**杉田 恭之**  
議員



**大野 洋子**  
議員

### 2050ゼロカーボン

達成に向けて森林環境税の活用で早くに緑化計画を検討すべき。

### 鶴ヶ島駅周辺の再生

鶴ヶ島駅周辺まちづくりの諸事業による地域の活性化、まちの再生を促すきっかけづくり。



**内野 嘉広**  
議員

### 少子高齢化への対応

ますます進んでいる少子高齢化地方自治体の行財政運営の安定化をしっかりと維持できるか。



**高橋 剣二**  
議員

### 鶴ヶ島駅通り無電柱化

駅通りの美観向上等のための無電柱化に約3億円使うより、他にやるべきことが山ほどある!



**長谷川 清**  
議員

### 住んでよかった鶴ヶ島

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくりの実現で市内全体の活性化と利便性の向上を目指せ!



**大曾根英明**  
議員

# 令和6年度予算 一般会計予算 243億6000万円

## 【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】 地域交流施設整備事業

南市民センターを鶴ヶ島文化会館の敷地に移転し、施設を複合化することで、新たに「地域交流施設」の整備を進める。

**Q** 新しい施設の市民センターとしての機能は。

**A** 令和6年度に策定予定の施設整備基本計画の中で位置づける予定である。

**Q** 駐車場が狭くなるのでは。

**A** 鶴ヶ島文化会館の敷地面積は、南市民センターよりも狭いが、隣接の水路や道を挟んだ土地の駐車場利用も検討している。今後ワークショップなどで市民の意見を伺い、整備していきたい。



鶴ヶ島文化会館

## 病児保育事業

子どもが病気で、自宅での保育が困難な場合に、一時的に保育し、安心して子育てできる環境を整備する。

**Q** なぜ無償化に踏み切ったのか。

**A** 保育所などに在籍する児童が対象であり、3歳以下の保育料を負担している世帯の利用が多い。

保育料と病児保育利用料の二重の負担軽減のため、今回無償化に踏み切った。

**Q** 無断キャンセルなどの問題は。

**A** 電話のみの予約から、インターネット上での予約が可能となり、無断キャンセルは減っている。



未来ある子どもたちのために

## こども医療費助成事業

保護者の経済的負担軽減のため、子どもの保護者に対し、支給している医療費助成金の支給対象を18歳まで拡充する。

**Q** 近隣他市の状況は。

**A** 川越市は6年4月から、本市は坂戸鶴ヶ島医師会に加盟している病院の周知など、準備の関係で、坂戸市とともに6年の10月から開始する。

**Q** 支援を拡大した理由は。

**A** 子どもを取り巻く環境の積極的なフォローと考えている。

また、県が通院及び入院の補助を拡大したことも後押しとなった。

## 高齢者実態把握事業

介護認定を受けていない75歳以上の高齢者を対象にしたアンケートの結果に基づき、要介護に陥るリスクの高い高齢者やアンケート未回答者の自宅を訪問し、必要な相談・支援などにつなげ、健康の保持増進などを図る。

**Q** 今までは実態調査を行っていなかったのか。

**A** 平成27年度までは、同様の調査を実施していた。コロナ禍の高齢者の生活実態が把握しづらかったこともあり、令和3年度にアンケートを再開するとともに、訪問事業と併せて行った。

**Q** 今後の見込みは。

**A** 令和3年度の結果から、元気な方が6割程と考えている。リスクが高い方の場合は、介護認定や介護予防事業を紹介するなど、必要な支援につなげていく。



いつまでも健康でいられるまちへ

## 【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】 道路環境整備事業

安全で居心地が良く歩きたくなる道路空間の形成のため、鶴ヶ島駅通りを整備する。

### Q 安全な交差点とは。

A 見通しが良い交差点である。今回実施する隅切りの設置は、安全対策としては非常に効果的であると考えている。

### Q 歩きたくなるまちの道路環境の安全をどうやって確保していくか。

A 歩きやすさと、歩きたくなるまちの両方を実施していく中で、景観というものが非常に大きな要素である。そこにダイレクトにアプローチするのが無電柱化である。

また、自主後退用地は、今後、沿道の方に説明会を実施し、納得いただいた上で可能な整備をしていきたい。



鶴ヶ島駅通り

## 小中学校水泳指導方法検討事業

小・中学校の水泳指導について、民間の活用により、施設を保有せずに実施する方法について検討する。

### Q 5年度の成果は。

A 児童生徒の泳力の向上及び天候に左右されない計画的な授業の実施やプールの管理が不要になったことなどによる教員の負担軽減である。また、小学6年生の25メートル以上クロールで泳げる子の割合は、民間施設を活用した学校のほうが高かった。

### Q 検討事業に参加する学校、参加しない学校の区分は。

A 校長会議で周知し、小学校全校及び中学校1校から希望があった。5年度は、比較的小規模の小中学校3校、中学校1校で実施したが、6年度は小学校を全校及び中学校1校に拡大して実施する予定である。

Q 児童・生徒、保護者の声は。

A 児童・生徒からは、楽しかった、泳ぎが上達した、来年もやりたいとの声、保護者からは、天候に左右されないことがよかった、子どもが楽しかったと言っていたとの声が多く寄せられ、概ね好評であった。

## 部活動地域クラブ化支援事業

子どもたちのスポーツ・文化活動を確保するとともに、教員の働き方改革のため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備する。

### Q 事業の具体的な内容は。

A 新人戦終了後に中学校全校で関われる競技において指導者を確定し、対応する予定である。これに加えて、指導者の質と量の確保、関係団体などの連携、生徒の自宅から会場までの安全確保の体制づくり、参加費用の負担の在り方を含めて、安定した事業の実施が見込めるかを検証する。

### Q どのように参加者を募るか。

A まだ検討段階だが、少なくとも夏休み前には、学校の教職員に説明し、秋までに募集に入る予定である。



## 特別会計予算

国民健康保険 約66億4681万円

後期高齢者医療 約12億6601万円

介護保険 約48億1452万円

一本松土地区画 約1億1779万円  
整理事業

若葉駅西口土地 約1億9178万円  
区画整理事業

## 国民健康保険

Q 医療費適正化の取組は。

A 第2期鶴ヶ島市国民健康保険保健事業実施計画などを定め、国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指している。糖尿病性腎症重症化予防対策事業、特定保健指導実施率向上対策事業及び生活習慣病予防対策事業を実施している。

## 後期高齢者医療

Q 対象者の推移は。

A 令和5年度12月末時点では、1万722人である。昨年度と比較し7.6%上昇している。

## 介護保険

Q 小規模多機能型居宅介護施設などの見直しは。

A 今後を見据えると、地域密度を上げていく。特に医療、介護双方を必要とする高齢者が増えている。在宅サービスの部分をしっかりと整備していきたい。



# 市の考えを問う 一般質問

3月13日・14日・18日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。詳細は、二次元バーコードの読み取りで録画中継をご覧ください。

## Q 防災対策のさらなる充実に向けて

むらかみ 村上 信吉 議員



## A 鶴ヶ島市地域防災計画に基づいて実施する



災害時の共助・公助の充実を！

**問** 公助の取組は、協定の締結、職員の防災力向上を目的とした研修や訓練など、鶴ヶ島市地域防災計画に基づき行政が実施すべき公助の取組を行っている。

**答** 総合防災訓練の実施や防災協定の締結、職員の防災力向上を目的とした研修や訓練など、鶴ヶ島市地域防災計画に基づき行政が実施すべき公助の取組を行っている。

**問** 公共施設及び個人の住宅の耐震化率は、

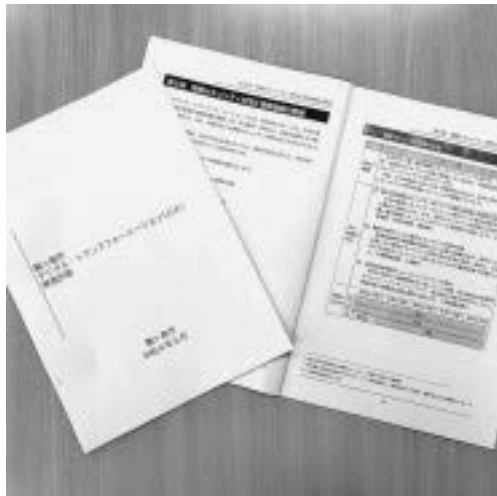
**答** 公共施設は全て、個人住宅の耐震化率は推計で約95%である。

**問** 災害を想定したインフラ整備について。

**答** 生活に欠かすことができない上水道・下水道については、一部事務組合が耐震化を計画的に進めている。

**問** 共助の充実について。

**答** 日頃から隣近所の住民と顔を合わせ、地域コミュニティが築かれていくことも共助の重要な役割となっている。



ガバメントクラウド・・・政府共通のクラウドサービスの利用環境のこと。

地域防災力の更なる強化に向け、総合防災訓練や防災講座などを通じて地域防災の重要性を啓発するとともに、自主防災組織の設立に向けた支援や、既存の組織の支援にも努めていく。

### ◎その他の質問

一 高齢者とともに活気のある鶴ヶ島を目指して

二 脚折雨乞での鶴ヶ島の魅力の発信について

**問** ガバメントクラウド移行に自治体として選択する余地は。

**答** 努力義務であり、選択の余地はあるが、非常に高いハードルが設けられている。

**問** 高いハードルの要件とは。

**答** ガバメントクラウドとの性能面、経済合理性などを定量的に比較した結果の公表や継続的なモニタリング、ガバメントクラウドを使用しなくても、標準

## Q ガバメントクラウドで自治体はどうなる

おあた 太田 忠芳 議員



## A 国に要望して遂行する

準拠システムのデータ連携を可能とすることがある。これら全てが認められないと、標準準拠システムの移行に対する補助金が受けられなくなる。

**問** 人口規模が大きい東京区市の場合、経費が非常に膨れ上がっているという調査結果が出ているが。

**答** イニシャルコスト及びランニングコストは、想定よりも増額が予想されている。イニシャルコストは補助額の積み増しとなる。ランニングコストも、比較検討の材料がないが、増額との想定であるため、国に全額補助の要望をしている。

**問** 標準化、共通化の移行期限の令和7年度中に1割の自治体が移行困難だとされているが。

**答** 国の許可を得て、期限を延長して進める救済策があると聞いている。

## Q 自治体防犯カメラ政策の実施について

やまなか  
山中 基充 議員



## A 本市の実情に合った整備を進めたい

私の地元自治会では、ごみの集積所への不法投棄に対し防犯カメラの設置を検討したが、電源の確保、データの管理などから断念した。また、自動車盗が発生した際、警察から地域に防犯カメラが少ないと聞いている。

**問** 街頭犯罪件数などの状況は、令和5年は増加しており、コロナ禍の行動制限の緩和が影響していると考えている。

**答** 令和5年は増加しており、コロナ禍の行動制限の緩和が影響していると考えている。

**問** 防犯カメラの設置と運用に関する規則や条例などの整備は、

**答** 防犯カメラは、地域住民の安心感と犯罪抑止に効果的な一方で、責任ある管理、運営が求められる。6年度にガイドラインなどの根拠規定の制定に併せ、



鶴ヶ島市を日本一安全・安心なまちに

整備方針の検討、策定を行う。

**問** 各小学校区に50台の設置で、緊急防災減災事業債など有利な財源の確保やICTでの一元管理などでもできると考えるが。

**答** 今後予定している防犯カメラの整備の検討の中で、本市の実情に合った整備を進めたい。

### ◎その他の質問

一 福祉避難所と防災備蓄

二 こどもまんなか社会への取組について

## Q 市で行う少子化対策の今後は

すぎた やすゆき  
杉田 恭之 議員



## A こども大綱を基に国と歩調を合わせて進める



**問** こども家庭庁の発足により、本市の乳幼児期及び学齢期以降の子どもの支援に変化は。

**答** 乳幼児期には、児童手当の拡充やこども誰でも通園制度などを行う。妊娠期から出産、子育て期までは、伴奏型相談支援や出産・子育て応援交付金を、既に開始している。

**問** 学齢期以降には、児童手当の対象年齢の拡大や、ヤングケアラーなどに対する支援などを行う。

**答** 今後、子どもの居場所づくりを計画的に推進する。

**問** こども家庭庁の発足により、国、県、市の役割は。

**答** 国は、子ども政策をこども

**問** 家庭庁に一本化した。

**答** 県は、こども家庭庁のこども大綱を勘案した、こども計画を作成する。

**問** 市は、国、県の計画を勘案し、市のこども計画を作成することがこども基本法で努力義務とされている。これまでに国、県などを含む関係機関と連携することとなる。

**問** 少子化対策をどう進めるか。

**答** こども大綱の方向性に基づき、こども、若者、子育て当事者などの意見を反映させ、市の実情を踏まえた各種の支援策を計画的に進めていきたい。

## Q 職員の人事管理と人材育成について

おがわ 小川 しげる 茂 議員



## A 適材適所の配置をはじめ、適切な人事管理を行う



働きやすい職場へ

**問** 本市の未来を担う職員には、限られた人員で変革の時代に的確に対応し、これまで以上に行政をしっかりと運営する能力と体力が必要である。職員採用で見えてきた課題は。

**答** 全国的に公務員のなり手不足が課題となっている。本市でも、各年度の職員数が定員管理計画に定める目標定数を充足できていない。試験方法の変更や専門職の年齢制限を引き上げるなど、応募者数の増加に向けて取り組んできた。

また、定年延長制度の導入に伴い、定年退職を迎える職員が2年に1度となるが、過去に人員削減の手段として行った採用抑制から生じた、いびつな年齢構成の解消のため、継続した職

員採用を行っていく。今後増加していく60歳以上の定年延長職員などには、豊富な知識と経験を活かし、幅広い職場において、自らの能力を發揮し活躍できるよう期待する役割などの考え方を整理した。

全ての職員が働きやすいと感じられるよう、更に社会情勢に応じた多様な働き方ができる仕組みづくりや、常に職場の中で期待され、役に立っているという「働きがい」を持てるような職場となるよう努めていく。

## Q 鶴ヶ島市総合防災訓練と災害対応

たきしま まさのり 瀧嶋 正紀 議員



## A さらに実践的で効果的な訓練になるよう努める



様々な人に配慮した訓練を

**問** 要配慮者の避難誘導訓練は。昨年度は障害者を含めた要配慮者の帰宅困難者対応訓練を行った。今後は、特に自力で避難することが困難な避難行動要支援者が、災害時において円滑に避難することができるよう、避難誘導訓練の内容を研究していきたい。

**問** 女性や性的少数者への配慮を考えた避難所運営訓練は。

**答** 避難所運営マニュアルには、地域住民で構成する避難所運営委員会において、女性のみならず性的少数者の方への配慮をしながら、避難所のルールや役割分担などを話し合っ決めてもらうことを記載している。

総合防災訓練では、住民と会議を重ねることで理解を深め、避難所開設・運営訓練を実施している。今後もより実践的な訓練となるよう地域住民の皆さんとともに実施していきたい。

**問** ペット同伴の避難所運営訓練などの考えは。

**答** ペットを理由に避難ができなくならないよう、様々な状況に応じて臨機応変な対応が必要と考える。

今後、実際にペットの避難を想定し、受付からペット専用スペースまでの案内などを行う訓練を考えていきたい。



## Q 市民の健康を支える 覚悟を

おがわ  
小川 尋海 議員



## A 帯状疱疹ワクチンの助成に 向けて準備を進めている

**問** ワクチンは症状軽減による医療費の削減、後遺症や死亡による社会的・経済的損失を考慮すると極めて費用対効果の高い、医療経済学では賢い取組とされている。带状疱疹ワクチンは90%以上の予防効果があり、効果の持続期間も10年間以上続く、非常に有効性の高いワクチンである。接種費用の一部助成の検討は。

**答** 带状疱疹ワクチンは、他自治体でも接種費用の一部助成が行われている。また、坂戸鶴ヶ島医師会からも要望書が提出された。これらの状況を踏まえ、令和6年度予算に計上し、準備を進めている。

**問** 带状疱疹ワクチン以外にもインフルエンザワクチンや男性のHPVワクチンなどの有効性の高いワクチンがある。これら



の接種費用の助成の検討は。

**答** 任意予防接種は、全額自己負担で接種するというのが基本的な考えである。国として定期予防接種になるなど動きがあった際には、すぐに対応できるようにする。

### ◎その他の質問

一 若年層にも利用しやすい行政サービスを

二 人件費のコストカット、結局どうするつもり？

## Q 「歩く」をキーワードにした施策の連携

うちの よしひろ  
内野 嘉広 議員



## A 地域に魅力を感じてもらえる施策を進めていきたい

**問** 市民に自分たちが住んでいるまちに興味を持ってもらうためには。

**答** 市民に向けた情報発信を行い、地域資源を活用したイベントや行事に参加してもらうことが効果的と考える。

**問** 「歩く」きっかけの一つとして、植樹の促進や遊休農地の活用としての花畑化による景観づくりについて。

**答** 健康づくりや文化財をテーマとして市内を巡るなどのウォーキングガイドマップを作成し、歩くことへのきっかけづくりを行っている。そうした中、地域団体による植樹を通じて景観などを守り育てる活動が各所で



「歩く」をきっかけとしたまちづくり

われている。また、遊休農地の活用としての花畑化は、地域の景観づくりにとって有効な取組であると考えている。このような景観づくりは、歩くことへのきっかけにつながるものと考えている。

**問** 身近な地域資源の活用について。

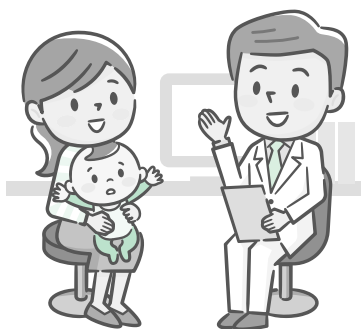
**答** 今あるもの、そして人が関わって作り出していく地域資源を活用することが大切である。また、市民を始め多くの地域活動団体と連携を図りながら地域に魅力を感じてもらえる各種取組や施策を進めていきたい。

## Q 乳幼児健康診査の充実を

こばやし  
小林ひとみ 議員



## A 5歳児健診は有用だが医師や専門職の確保が課題



**問** 現状の1か月児健診の実施方法と費用負担は。

**答** 1か月児健診は母子保健法に基づく法定健診ではなく、市町村に実施義務がないことから、ほとんどの赤ちゃんは母親が出産した医療機関で個別に健診を受けている。費用は全額自己負担となっている。

**問** 国から1か月児に対し健康診査の実施を目指すという打ち出しがあったが、今後、費用助成を行うのか。

**答** 市が各市町村にある産婦人科と契約を結ぶことは困難なことから、県が集合契約に向けて調整をしている。県が集合契約を結んだ後、契約の中に入れていただく形で準備を進めている。  
**問** 5歳児健診の必要性や課題

は。

**答** 5歳児は言語の理解力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期と言われている。5歳児健診は、子どもの特性を早期に発見し、適切な支援につなげる目的があり有用である。現時点では、発達障害を専門とする医師や専門職の確保などの健診体制の整備が課題である。

### ◎その他の質問

一 ヤングケアラー支援について  
二 保育所の土曜保育について

## Q 第3期鶴ヶ島市環境基本計画について

おおそねひであき  
大曾根英明 議員



## A 市の望ましい環境像の実現を目指す

**問** 本市は2050年ゼロカーボンシティを目指すことを宣言したが、望ましい環境について。

**答** 市民、事業者、行政の3者が実施主体として協働し、オーラル鶴ヶ島で課題へ取り組んでいく。安心して暮らすことのできる環境を未来に継承していく。

**問** 「安心で快適に暮らせるま

ちをつくる」とは。

**答** 大気、水質、騒音など生活環境に関する内容のほか、気候変動問題に対する緩和策、適応策を進めていくことである。

**問** 「地球温暖化対策に取り組みまちをつくる」とは。

**答** 様々な社会生活において排出される温室効果ガスの排出量

を削減していくことである。

**問** 「5Rを推進し、循環型社会を目指すまちをつくる」とは。  
**答** ごみを減らし、限りある資源を守っていくことである。

**問** 「緑と水に育まれた命みちあふれるまちをつくる」とは。  
**答** 身近な緑や生物を守り、かけがえない自然を維持し、次世代に残していくことである。

**問** 「人の交流が豊かなまちをつくる」とは。  
**答** 市民参加型の活動や環境学習などにより環境意識の向上を図り、多くの人に環境問題に取り組んでもらうことである。



自然を守ってゼロカーボン！

# Q 市長の政策に関する 施策の検証

はせがわ きよし  
長谷川 清 議員



## A 取組の結果が必ずしも成果に 結びついていない

**問** 市長は「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を市の将来像に定め、これを実現するために3つの重点戦略及び40の施策を掲げているが、现阶段の達成度は。

**答** 中間指標の達成割合は約4割だが、重点戦略指標については全て未達成であり、取組の結果が必ずしも成果に結びついていない。

**問** これまで一般的に使われていたPDCAサイクルとEBPM（科学的根拠に基づく政策立案）の考え方について。

**答** 客観的なデータに基づき、政策を立案することは大切である。しかし、市の業務の場合は、窓口業務など直接市民と向き合う立場にあり、全てを客観的な根拠に基づき行うことは難しいと考える。



科学的根拠に基づく政策立案を

可能な範囲で活用していき

い。

**問** 災害に強い国づくりの一環として、国が進めている緊急輸送道路の確保などにおける「無電柱化」とは違う目的で、突発的に行われる「無電柱化」は本当に必要なのか。

**答** 快適な道路空間の形成における、景観整備としても重要な位置づけがあるからこそ、複合的に行っていくものである。

# Q 訪問介護報酬引下げ 改定はどうか

こじま ゆきひろ  
小島 幸広 議員



## A 要件を満たしていけば結果的に 報酬は引き上がる

**問** 令和6年度の介護報酬は、全体で1・59%引上げしたが、訪問介護などの基本報酬の引下げが決定している。訪問介護施設の経営状態は。

**答** 介護保険事業経営実態調査の4年度決算における訪問介護の利益率は、7・8%となっており、全サービスの平均値の2・4%を大きく上回っていた。そのため、国では他のサービスと比較し、訪問介護の経営状況は良好であるとの判断をしたものと考えている。

**問** 全体の36・7%の介護事業者が赤字という報道がある。基本報酬の引下げは、経営困難に追い込まれ、処遇改善もできず、

ますますヘルパーの不足を招くのではないかと懸念している。

**答** 基本報酬の引下げはあるが、処遇改善加算は改定後、一番低い事業所で14・5%、高いところでは24・5%の加算率となる。要件を満たせば結果的に報酬は引き上がる仕組みのため、単純な引下げとは捉えていない。

### ◎その他の質問

一 石川、能登半島大地震に示された教訓を重く受け止め震災から市民を守る課題と改善すべき対策について

二 学校給食に地場産農産物、地元生産食品の使用拡大を





## Q 保留児童の実態と対策は

ふくしま めぐみ  
福島 恵美 議員



## A 厳しい状況は続くが対応していきたい

**問** 本市は「10年連続待機児童ゼロ」を誇っているが、希望どおりの保育所などを利用できない「保留児童」が発生している。「待機児童ゼロ」のメッセージで市民が混乱している現状があるのではないか。実態と分析は。

**答** 直近5年間の合計は166人である。令和5年度の保留児童数は49人で、0〜2歳児が73%を占める。保護者の短時間勤務や求職中など入所審査の際の指数が低いことや希望する施設数が少ないなどの要因が多い。

**問** 対応と今後の対策は。

**答** 認可保育所などの施設整備をはじめ、利用定員を上回る受入れを行ってきた。しばらくは入所希望児童数が利用定員を上回ると予想するが、弾力的な受

入れを継続的に実施するほか、既存の私立幼稚園の認定こども園化などで対応していく。

**問** 現状では保護者の多様なニーズにこたえられていない。市長が掲げる「子どもにやさしいまちづくり」が届いていない保護者へメッセージがあれば。

**答** 0〜2歳児の厳しい状況はしばらく続くが、きちんとした形で手を打っていききたい。

◎その他の質問

一 災害対策の見直しを

二 脚折雨乞を活かす施策

## Q ヘルプマークの認知度向上へ

このの  
今野 雄一 議員



## A 多様な媒体で、積極的な情報発信をしていきたい

**問** 本市での、ヘルプマークの配布対象者と配布方法は。

**答** 市内在住の障害のある方、難病の方や妊娠初期の方など、援助や配慮を必要とする方を配布対象者としている。障害者福祉課にて、県のガイドラインに基づき障害の状況などの聞き取りを行い、趣旨や使用方法を説明

**問** 本市での、ヘルプマークの配布対象者と配布方法は。

**答** 市内在住の障害のある方、難病の方や妊娠初期の方など、援助や配慮を必要とする方を配布対象者としている。障害者福祉課にて、県のガイドラインに基づき障害の状況などの聞き取りを行い、趣旨や使用方法を説



ヘルプマーク利用者に援助を

センターなどでの配布も検討したい。

**問** ヘルプマークの認知度に課題があり、優先席の使用を非難されることもあるとのこと。認知度の向上への取組が引き続き必要と考える。プッシュ型の情報発信を。

**答** ポスターやホームページへの掲載に加え、障害者交流フェスティバルなどでの周知や、つるポツケ・広報紙などの多様な媒体で、積極的な情報発信に努めたいと考えている。

◎その他の質問 心のサポートー養成事業について



西部地域の道路整備を

## Q 西部地域の道路整備を

たかしの 高篠  
まさひろ 雅洋 議員



## A 安全対策を第一に考え 維持管理に努める

**問** 県道新川越生線の進捗状況は。

**答** 高倉地区は測量調査が完了し、用地取得を進めており、中新田地区は、東武越生線アンダーパスの雨水排水施設の設計を進めているとのことである。

**問** 昨年3月に住民説明会が開催されたが、その後の状況は。

**答** 来年度、住民説明会を計画していると聞いている。

**問** 東武越生線のアンダーパス化により、自治会の一部が東西で分断されるが、地域住民への安全対策と生活道路の確保は。

**答** 周辺道路の整備は、県と連携を深めて事業に協力していきたい。

**問** 踏切の廃止により東武越生線の南北で地域が分断されるた

## 春の全国交通安全運動街頭指導に参加！



令和6年4月7日に、鶴ヶ島桜まつりの会場内で、全国交通安全運動における街頭指導が実施され、鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加しました。

め、線路に沿った側道の整備は、踏切廃止とセットで当該地区の機運の高まりがあれば、検討の余地が出てくるのではないかと考えている。

**問** 都市計画道路「鶴ヶ島日高線」の今後の方針は。

**答** 県道新川越生線の進捗と完成を見極め、交通量などを踏まえて、西部地域の道路整備を模索していく考えである。

◎**その他の質問** 複合施設（旧西中学校）意見集約の状況は

## 令和6年第1回定例会の日程（会期30日間）

2/21	本会議	開会 議案第1号～第32号上程
27	本会議	議案第17号及び第18号を採決 議案第1号～第16号及び第19号～第32号を委員会付託
29	総務産業建設常任委員会	付託議案審査
3/1	文教厚生常任委員会	付託議案審査
5・6・7	予算決算常任委員会	付託議案審査
13・14・18	本会議	一般質問
21	本会議	議案第1号～第16号及び第19号～第32号並びに請願第1号を採決 議案第33号及び第34号を上程及び採決 閉会

## 3月定例会

令和6年第1回鶴ヶ島市議会定例会を2月21日（水）から3月21日（木）までの30日間の会期で開催しました。本定例会では、市長提出議案34件及び請願1件を審議し、令和6年度の当初予算や犯罪被害者等支援条例などを可決しました。

また、一般質問を3日間にわたり行い、15人の議員が登壇しました。

# 令和6年第1回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ			つるがしま未来			公明党			日本共産党			賛成	反対・賛成せず		
				小川 瀧嶋 正紀 茂	村上 信吉	杉田 恭之	高橋 劍二	出雲 敏太郎	高篠 雅洋	内野 嘉広	大曾 根英明	今野 雄一	小林 ひとみ	山中 基充	太田 忠芳			小島 幸広	小川 尋海
議案第1号	鶴ヶ島市個人番号の利用の範囲及び特定個人情報の提供の制限に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第2号	鶴ヶ島市犯罪被害者等支援条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第3号	鶴ヶ島市重度心身障害者医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第4号	鶴ヶ島市ともに生きるやさしさのあるまちを目指す障害者のコミュニケーション支援条例及び鶴ヶ島市手話言語条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第5号	鶴ヶ島市子ども医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第6号	鶴ヶ島市ひとり親家庭等医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第7号	鶴ヶ島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第8号	鶴ヶ島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	15	2
議案第9号	鶴ヶ島市介護保険条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	15	2
議案第10号	鶴ヶ島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第11号	鶴ヶ島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第12号	鶴ヶ島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第13号	鶴ヶ島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第14号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第15号	坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業施行規程及び坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第16号	鶴ヶ島市立学校設置条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第17号	鶴ヶ島市監査委員条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第18号	令和5年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（8号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第19号	令和5年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（9号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第20号	令和5年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第21号	令和5年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第22号	令和5年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算（第3号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第23号	令和5年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第24号	令和5年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第25号	令和6年度鶴ヶ島市一般会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	15	2
議案第26号	令和6年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	15	2
議案第27号	令和6年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第28号	令和6年度鶴ヶ島市介護保険特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2
議案第29号	令和6年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業一本松土地区画整理事業特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第30号	令和6年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計予算について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議案第31号	市道の路線の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ		つるがしま未来		公明党		日本共産党				賛成	反対・賛成せず			
				小川 瀧嶋 正紀 茂	村上 信吉	杉田 恭之	高橋 剣一	出雲敏 太郎	高篠 雅洋	内野 嘉広	大曾根英 明	今野 雄一	小林ひと み			山中 基充	太田 忠芳	小島 幸広
議案第32号	市道の路線の廃止について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
議案第33号	鶴ヶ島市税条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
議案第34号	令和6年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	17	0
請願第1号	鶴ヶ島市内の公立小中学校給食費無償化を求める請願		不採択に決す	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	×	4	13

## 委員会審査

## 請願審査

請願第1号 鶴ヶ島市内の公立小中学校給食費無償化を求める請願

【請願者】岡 聖子さん

現在、物価上昇が続き、給食費が保護者の大きな負担になっている。また、様々な事情により家庭での食事が不十分な子どもも少なからずいる。

給食費の無償化と併せて、埼玉県産の食材を中心とすることで、地域の活性化にもつながると考える。

全ての子どもが安心して食事ができるよう、市内小・中学校の給食費無償化を求める。

### 賛成少数で不採択



詳しい内容はこちら

### Point! 市の財政負担

#### 給食材料費の現状(月額)

	小学生	中学生
保護者の負担	4,150円	4,800円
差額約4,300万円を市で負担		
実際の材料費	4,600円	5,350円

もし無償化すると…

現在の保護者負担分  
約2億5,000万円の負担増。  
現在市で、負担している金額も合わせると、約3億円の負担。

国で実施すべき!

子育て支援を!

## 賛成

子育て世帯への支援は待ったなしであり、国の動きが鈍い中、自治体が率先して取り組まざるを得ない状況にある。物価高騰などで、経済的に大変な子育てをしている方が多い。どうして坂戸市でできて、本市でできないのか。

子どもは社会の宝であるにもかかわらず、経済的負担が子育て世帯の生活を直撃している。子どもにやさしいまちとして、市外にもアピールするチャンスである。

給食費無償化に係る費用のみではなく、複合的な効果を考えたい。

## 反対

生活保護世帯など全体の約15・5%にあたる世帯で給食費が課されていない。また、保護者の経済的負担軽減のため、物価高騰分を市で負担している。

まずは、国が実施すべきと市や議会が働きかけていくことが重要である。議論が深まっていない中で、直ちに、市費で実施するのは時期尚早と考える。財源を捻出するためには、教育施策や給食の質の低下など、新たな問題の発生が考えられる。市では、国に対して学校給食費の国庫負担を要望している。

## Q 給食費の市の負担額は。

A 令和6年度予算において、保護者の負担額を据え置くために、物価高騰分の4300万円程度負担している。

## Q 給食費を無償化した場合の市の負担額は。

A 現在、市で負担している物価高騰分と合わせると、3億円程度となる。

## Q 低所得世帯などへ支援は。

A 生活保護による教育扶助や就学援助制度による援助を行っている。4年度は金額において、生活保護で0・8%、就学援助制度で14・7%支援した。

## Q 給食費よりも優先すべき子ども関連予算は。

A 教育環境の充実や向上と考える。具体的には、学校施設の整備、ICT化の推進、スクールカウンセラーや学習支援員などの教育を支えるスタッフの配置などを行っている。

## Q 学校給食費無償化について国に対しての市のアクションは。

A 地元選出の国会議員を通じて、国費による学校給食費無償化の実施に関する要望書を提出している。

## 委員会審査(案 例)

**議案第4号**  
鶴ヶ島市ともに生きるやさしさのあるまちを目指す障害者のコミュニケーション支援条例及び鶴ヶ島市手話言語条例の一部を改正する条例について

事業者に合理的配慮の提供を義務付けるものです。



**Q** 具体例は。

**A** 車椅子のまま席に着きたい場合に、既存の椅子をどかさすことや、弱視で耳の不自由な方と筆談する際は細いペンではなく太いペンを使用するなどがある。

**議案第8号**  
鶴ヶ島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について  
国民健康保険税の税率を改正するものです。

**Q** 国民健康保険税の増額をどう理解してもらおうのか。

**A** 広報4月号及び7月号への掲載及び納税通知書に手紙を同封し、説明をする。納付が困難な場合や納付の相談などにも、丁寧に対応していきたい。

**議案第2号**  
鶴ヶ島市犯罪被害者等支援条例について

犯罪被害者等の支援の基本理念を定め、見舞金の支給等の支援を行うためのものです。

**Q** 振り込め詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺被害は、見舞金等の支援の対象になるのか。

**A** 精神や身体に大きな被害を受けた犯罪が対象のため、この見舞金の対象にはならない。



**議案第16号**  
鶴ヶ島市立学校設置条例の一部を改正する条例について

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校と鶴ヶ島市立西中学校を再編するものです。

**Q** 学校再編は子どもたちにとって良いことか。

**A** 生徒が減少する中、学校を再編することで、一定規模の生徒数を確保し、より良い教育環境を整える目的がある。



鶴ヶ島中学校

※常任委員会で審査された議案の一部を抜粋しています。

**議案第3号**  
鶴ヶ島市重度心身障害者医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について

介護保険施設等を居住地特例の対象となる施設に追加するものです。

**議案第5号**  
鶴ヶ島市子ども医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について

医療費助成金の支給の対象範囲を、現在の15歳から、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大するものです。



**議案第6号**  
鶴ヶ島市ひとり親家庭等医療費助成金に関する条例の一部を改正する条例について

ひとり親家庭の父又は母が市内に住所を有する場合、日本国内に住所を有する児童への監護の実態がある場合、医療費助成金の支給の対象とするものです。

## 委員会審査(補正予算)

令和5年度的一般会計補正予算を1件及び特別会計補正予算5件を審査しました。

## 植本祭@議会図書室

令和6年3月23日、「つるがしま」でもまちライブラリー@議会図書室植本祭」を開催しました。

第1部は、社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会による「みんなの話しの進め方教室」。グループに分かれて、アイスブレイクや付箋を使ったワークショップなどを体験しました。第2部では、「まちライブラリーに置きたい」と持ち寄った本のよさをそれぞれが語り、新たに8冊が「植本」されました。

議会図書室は、皆様も閲覧可能です。ぜひお越しください。

図書委員会委員長 山中 基充



当日の様子

鶴ヶ島市議会において、能登半島地震に対する義援金を送金しました。

被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と、被災地における早期の復旧・復興を謹んでお祈り申し上げます。

## 次回定例会のお知らせ

次回の令和6年第2回定例会は、5月31日(金)に開会予定です。

議会の日程は、開会日の5~2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。

ホームページはこちらから

鶴ヶ島市議会

検索





みどりかぜ  
×  
市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

持続可能な社会の実現を目指して「緑のカーテン」の普及啓発に取り組んでいる、みどりかぜ（つるがしま緑のカーテン市民実行委員会）の方々に、令和6年2月7日（水）にインタビューを行いました。



市役所ロビーで行われる緑のカーテン展覧会の写真の作品

表紙の写真：インタビューに参加したみどりかぜのメンバー  
宮崎弘子さん、末永智子さん、東乃正信さん、前田則義さん

●涼しさ届ける「緑のカーテン」

緑のカーテンは、ツル性の植物（ゴーヤ、ヘチマなど）による建物などの壁面緑化で、夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があります。自宅の庭や集合住宅のベランダでも比較的簡単に作る事ができ、エアコンの省エネ・節電効果が期待されています。

●日頃の活動から思うこと

主な活動として、「緑のカーテン展覧会」を主催するほか、講習会や各種イベントの開催、「ヘチマ・プロジェクト」の推進及び協力、花の苗の提供や配布などの活動を、地域の企業や学生ボランティアの方々の協力を得ながら行っています。

私たちの活動を通して市民の皆さんに「緑のカーテン」に興味を持っていただき、参加してもらうことで、市の目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に貢献したいと思っています。

●大事な苗を育てる

皆さんに配布する「良い苗」を育てることも私たちの大切な活動です。種まきの時期や場所、土や水やりの工夫をしています。が、うまく育たない場合もあり、

●環境にやさしいまち

鶴ヶ島市は、市民団体の活動も活発で、環境活動への理解もあります。「鶴ヶ島市ゼロカーボンシティ宣言」は、私たちの活動の活力になっています。明るい未来と子どもたちのために、持続可能な社会を目指す取組を広げていきたいです。

●議員に一言

「市議会だより」が読みやすく工夫され、市民と議員の懇談会を行うなど、身近な議員に相談できる、風通しの良い議会だと思います。これからは、現役世代や親子連れなどの若い人達も気軽に参加できる議員との交流の場があれば、もっと議会に関心が向くと思います。



編集  
後記

長かったコロナ禍が明け、そして春を迎えることができました。本市では春の桜まつり以降、6月のガーデンパーク開園や8月の脚折雨乞など、明るい話題が続きます。

本市議会では、6月23日に市民と議員の懇談会を開催します。昨年度のアンケート意見などを踏まえ、南・富士見・西市民センターの3会場に分かれ、皆様のお話を伺います。本市の身近な課題や未来など語り合うのが楽しみです。これからも、より親しみの持てる議会を目指して活動して参ります。

(村上)

- (広報広聴委員)
- 委員長 小林ひとみ
  - 副委員長 今野雄一
  - 委員 太田忠芳
  - 委員 小川信茂
  - 委員 村上信吉
  - 委員 福島恵美
  - 委員 高篠雅洋
  - 委員 内野嘉広

# 市民と

# ギイン

議員

# の懇談会

議会への疑問、意見をお聞かせください!

## 語ろう!

### 暮らしのこと まちのこと

## [6/23(日)] 10:00~12:00

市民と議員の懇談会は、3チーム3会場で開催します。お近くの会場にお越し下さい。

### 南市民センター

集会室



担当議員

### 富士見市民センター

集会室



担当議員

### 西市民センター

集会室



担当議員

南市民センターに保育(生後3か月以上)、西市民センターに手話通訳のサービスがあります。必要な方は、6月13日(木)までに議会事務局にお申込みください。

主催：鶴ヶ島市議会  
問合せ：鶴ヶ島市議会事務局 Tel.049-271-1111

詳細は市議会のホームページへ



市民と議員の懇談会2023の様子

令和5年度は、「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」をテーマに市役所議場とZOOMでのオンラインで開催しました。全体で52人の参加があり、様々なご意見をいただきました。

6年度は「語ろう!暮らしのこと まちのこと」をテーマに、南・富士見・西市民センターの3会場で開催します。ぜひご参加ください。たくさんのご意見お待ちしております。

「市民と議員の懇談会」